

OSAKA

わいなん

議会だより

学校給食の全額無償化！

令和4年3月定例会議

令和4年5月臨時会議

令和4年度当初予算 P 4～9

審議結果など P10

これが聞きたいねん一般質問 P11～19

ほか

2022.6 No.155

発行／河南町議会
編集／広報常任委員会

令和4年度 当初予算

町政運営の施策に関する 基本的な考え方 (施政運営方針から)

令和の時代になり新たに顕在化した価値観の多様性、複雑化する住民ニーズに対応するため、それぞれの課題に対して見直しを行う。新たな課題として、施策を展開し、まちづくりを進めます。町政の最上位計画である「河南町まちづくり計画」に基づき、事業の選択と集中を図り、限られた財源の中、持続したまちづくりを推進します。

※総括質疑は、施策体系に基づき新規事業・拡充事業などの質疑内容を抜粋して掲載しています。

「安全で安心に住めるまち」

○消防の広域化の推進

〽南河内5市2町1村で、共同運用に関する協定を締結し、消防指令センターの共同整備を進める〽

問 町長の決意と考えを。

答 消防力の強化を図る。広域化を進めることで一歩踏み出す。広域化は、スケールメリットを活かせる事務だと思ふ。小規模団体であれば装備など難しい点もあるが、最新の装備を使うことにより対応できるものもあるので、広域化は有効な手段だと考えている。

「子育てと教育のまち」

○子ども1番のまち

〽安心して子どもを産み育てられるまちの実現のために〽

問 「子ども1番」を目指す意義は、何

か。

答 「河南町に行けば住みやすい。」少しでも、魅力アップを図っていき

○学校給食費の無償化 (全額助成)

〽保護者の経済的負担の軽減を図る観点から無償化を実施〽

問 学校給食費の全額助成ということだが、今年度のみ助成なのか。

答 学校給食の無償化は、住民の皆さんとの約束ということで、財源との調整を図りつつ、恒久的に実施していきたい。

OGIGAスクール構想

〽 Society5.0時代を担う人材の育成を考える〽

問 昨年4月から進めているGIGAスクール構想。1年が経過し、課題に対して今後どのように進めていくのか。

答 専門的な知識を入れてもらうため、専門業者が各学校をサポートする体制ができるよう予算化している。今後も子どもたちが、次の時代に向

けて使える機器として活用していきたいと考えている。

「みんなが生涯活躍できるまち」

○集団住民健診

「健康寿命の延伸を
目指し、健康診査・健康
教育などを継続する」

問 新型コロナウイルス禍で、集団住民健診が縮小されたが、今後の住民健診の考えは。

答 集団住民健診については、そのまま続けて実施する。健康診断の項目は、充実していると考えている。医療機関での個別健診・集団住民健診を住民が選択できる形でやっていく。

「快適でにぎわいのあるまち」

○「カナちゃんバス」小型

低床バスへ入れ替え。
ICカードシステムを
導入しキャッシュレス
化を推進。

「地域公共交通をさらに充実させ、利便性を高める」

問 地域公共交通事業の取り組みは。

答 高齢者の利用が多いので、低床バスを導入し、障がい者の人も利用できるように検討した。このバスの導入で、利用しやすい移動ができる形になれば、町も活気付く。

○新規返礼品の開拓など、ふるさと納税制度を促進

「積極的なPRに取り組み、さらなる獲得を目指す」

問 ふるさと納税で、独自財源を生み出す方策は。

答 商品開発で、何かヒットできれば、ふるさと納税以外にも増収が期待できる。いろんな手立てをやる形を取っていく。

「自然と歴史に囲まれたまち」

○ゼロカーボンシティ

宣言に向けて

「待ったなしの気候変動問題への対応を実施」

問 環境省は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、地方公共団体実行計画を作成し、再生エネルギー導入、省エネ推進の施策を求めている。実行計画の取り組みの決意は。

答 ゼロカーボンシティ宣言をするということで準備を進めている。町でも二酸化炭素の排出量抑制などに取り組んできた。住民の皆さんにも、啓発していきたい。

「一歩先を行くまち」

○デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

「住民福祉の向上を図るとともに、事務事業の効率化、時代に沿った行政サービスの提供を進める」

問 将来を見据えて、今回の地方創

生人材育成支援制度を、どのように活用されるのか。

答 デジタルトランスフォーメーションは、力を入れていく必要があると思っている。町職員の働き方改革もあるが、それにより、住民の皆さんの働き方改革にもつながる。DXの関係の人材派遣ということで、民間企業への委託という形で進める。1年をかけて、その中で何か新しいものを見い出せたらということで行っていく。

「その他」

○限られた財源の中で創意工夫を

「特に必要と認められる事業に重点配分する」

問 税収入を図るうえで、増収を見込む方策はあるのか。

答 法人町民税で増収もあるが、農業が主となっていて、事業者の占める割合が少ない。農業と産業、住民の定住を図るところで、税の増収を図っていく。

令和4年度 当初予算 一般会計 質問と回答

一般会計予算 61億8,794万円 前年度比 2億8,620万円増

令和4年度の町の予算の総額は、一般会計および国民健康保険特別会計ほか4特別会計（下水道事業会計を含む）を合わせて、108億2,769万円となっています。

ここでは、令和4年3月定例会議で各議員から一般会計予算で質問のあった内容と、町からの回答を抜粋して掲載しています。

歳入

問 債務負担行為している消防広域化改修事業7900万円の内容は。

答 広域化に向けた消防司令センター改修工事の負担金で令和5年度に支出が生じるので債務負担行為で計上している。緊急防災・減債事業債が財源となる。

問 地域公共交通車両の整備事業として、5770万円が計上されているが、リースではなく購入する理由は。また、電気バスも検討すべきだと思いがいかがか。

答 高齢者や障がいのある人も利用しやすい低床バスは受注生産となるため、リースは難しい。交付税処措置のある地方債が充当できる点から購入に踏み切った。電気バスも検討したが、1回の充電で終日運行できないので難しい。

問 ふるさと応援基金2000万円について、新聞広告による効果があったのか。

答 ふるさと納税に関する記事を東京の新聞に掲載したことで、東京都

民から河南町へのふるさと納税は、約2割増加し、275万円の寄付があった。

問 地方交付税が大幅に増加しているが、その増加要因は。

答 これまで交付税の不足分は、臨時財政対策債という名目で借金していたが、財源不足額が圧縮されることで臨時財政対策債が約2億円減となり、普通交付税の増加を見込んでいることが要因である。

問 町税の歳入面の増額に向けての方策と固定資産税の滞納に対する対応は。

答 課税対象の適切な把握と口座振替キャンペーンなど、納税環境を整える事が方策の一つだと考えている。固定資産税の滞納数は、約140件あるが、滞納処分など徴収機構と連携し対応している。

歳出

人件費 13億8039万円
前年度比 5918万円 **減**

令和4年度当初予算・一般会計

議会費 9838万円
前年度比 96万円 **減**

総務費 9億4998万円
前年度比 3361万円 **増**

問 町の情報発信に重要なホームページだが、リニューアル委託料の1500万は妥当なのか。



▶現在の町のホームページの画面。

答 8年間大きなリニューアルをせ

ず運用してきた。現在、町のホームページのページ数は、約5000ページあり、それを精査した上で予算要求している。他の市町村でもほぼ同額の更新費用となっている。

問 ICカードのシステム委託料として650万円計上しているが、カナちゃんバス専用のカードなのか。

答 カードをかざすだけで支払いを可能にするシステムで、新型バス運



▶購入予定のカナちゃんバスの新型車両。
(イメージ)

用開始時に導入を予定している。ICカードは金剛バスや電車にも乗れるようなシステムを考えている。

問 カナちゃんバスの新車両は、町の特別仕様車なのか。発注後、どの程度で完成するのか。

答 新車両には、超低床で車椅子も格納できるような、さまざまなオプションがあり、町独自の特別仕様となる。納入には約1年程度と聞いている。

問 電子計算システム維持管理委託料は、2200万円程度増加したとのことだが、どのような効果があるのか。

答 「ぴったりサービス」と連携するためのシステム改修費用。マイナンバーカードがあればスマホで、児童手当などさまざまな申請を可能にする。

問 地方創生人材派遣業務委託に対しては、何を期待しているのか。また、国の補助金はあるのか。

答 住民サービスの向上と地域の活性化、自治体の効率化に期待して、この地方創生人材支援制度を活用しようと考えている。国の補助金はない。

民生費 24億9817万円
前年度比 1億4697万円

増

問 地域生活支援委託料621万円は、社会福祉協議会に委託した費用なのか。

答 24時間休日を含めた基幹相談支援センターの業務やさまざまなサービスなど、5事業者に相談支援の業務を委託している費用であり、社会福祉協議会への委託とは違う。

問 障がい者自立支援給付費が1億円以上も増加しているが、その費用が障がい者の人々に回っているか、そのチェック体制はどうなっているのか。

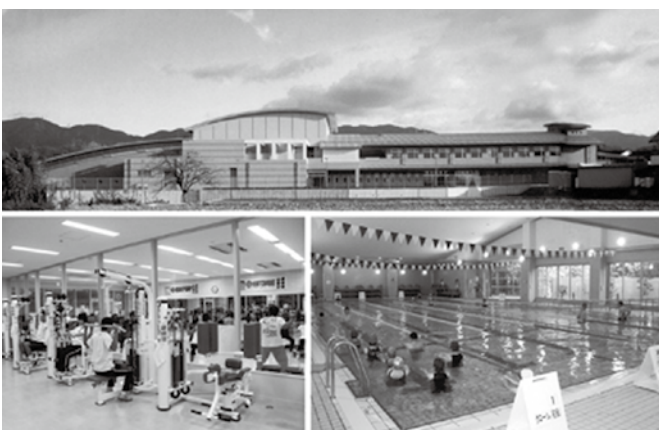
答 基本的に障がい者の人が施設やサービスを利用した場合、その事業者からの申請に基づき給付している。自立支援サービスには2種類があり、介護給付的なサービスは認定審査会、障がい者の人は、支給判定審査会などで判定してもらうなど、各審査会でチェックされている。

問 社会福祉協議会への助成金が2830万円となっているが、どのよ

うな機能・役割を求めているのか。

答 社会福祉協議会では、各種ボランティアを含めた団体の支援、福祉委員会やネットワーク活動の推進、ラクチンライフサポート事業、福祉有償運送など、さまざまな事業・サービスを行っている。

問 総合保健福祉センターの指定管理3900万円は、「かなんぴあ」の管理費用だが、町の施設でありながら、町外の利用者が多く、順番が回って来ないことがある。町内と町外の人の料金改定はできないのか。



▶保健福祉センター(かなんぴあ)

◀町の棚田の風景(平石地区)



答 コロナ禍で会員数が減少しており、かなん健康づくりパートナーズに対しては、町内の人を優遇いただけないかと要望しており、現在、検討いただいているところである。

衛生費 5億1673万円
前年度比 3356万円 **増**

問 太陽光発電のこれまでの補助実績件数329件は大体、町内の10%位の設置数になっている。全国平均ではかなり高いペースで進んでいるが、カーボンニュートラルの観点から言えば太陽光も大事だが蓄電機能も必要と思うが補助がない。そこで先進事例として新たな方向性を見い出せないか。

答 2050年ゼロカーボンに向けてあらゆる施策や動きが出て来ると思われる。行政としても施策的に何ができるか、どういったことが必要か考えながらこれから展開していきたいと考えている。

問 住民の人から高評価されている集団住民健診が、コロナ禍の中で従

来の7割程度に減っているというところだが、減った分は医療機関の個別健診で吸収されたのか。また、コロナ対策を考慮し、従来の枠確保というところで健診日数を増やす考えはあるのか。

答 集団健診を受けられなかった人が医療機関でどれだけ受診されたかは、年度途中であり実績は出ていないが、従来医療機関で実施していなかった肺がん検診(肺のレントゲン検査)と胃がん検診(胃のバリウム検査)については受診した人がかなりいる。健診日数を増やすことについては検討課題である。

農林水産業費など 1億5624万円
前年度比 2750万円 **増**

問 地域通貨の推進業務委託料3100万円計上されているが、カナちやんコイン第2弾のチャージキャンペーン(3月15日で終了)の利用金額、利用件数など確認したい。

答 2月末現在でのチャージされた

金額は7628万9千円、それに30%町が上乘せした金額が2288万6700円。合計9917万5700円が今回の金額。利用件数はアプリでのチャージ回数2423回、カードのチャージ回数5028回、クレジットカードでのチャージ回数469回で、合計回数7920回となっている。

問 農業の次世代人材投資給付金に関して、4人からプラス3人で7人を見込んでおり、少しずつ拡充していることは好ましい事だが、この人たちは、どのような農作物を作っているのか。

答 最近2、3年はイチゴのハウス栽培が多く、それ以前はトマトのハウス栽培などが行われている。

問 棚田保全事業費は60万円しか計上されていないが、持尾と平石の棚田が百選に選ばれたということで、これに関して町で何か事業の取り組みなどを考えはどうか。

答 農林水産省で新たに選ばれた「つなぐ棚田百選」に、町の平石と持尾の棚田が選ばれた。町としてもこの棚田の景観を生かして町内外へ紹介していこうと考えている。

問 多面的機能支払交付金が150万円位計上されているが、これの具体的な内容について知りたい。

答 地域が共同で行う多面的機能を支える活動、具体的には地域資源である農地、水路、農道などの資質向上を図る活動の支援をいう。町で行っている事業の概要としては、令和3年度と同じく令和4年度予算でも3地区計上しており、河南西部、畑田寛農会、北加納地区の3か所で行っている。

土木費 4億4320万円
前年度比 367万円

減

問 橋梁維持費に関し、橋梁点検委託料として2500万円を計上しているが、町で点検しないとけない橋梁は何か所ぐらいあるのか。

答 町の管理橋梁は78橋あり、うち18橋を令和3年度に先行して実施しており、残り60橋を令和4年度に実施する。

問 昨年、熱海で土石流が発生、甚大な被害を招いたが、それを受けて全国で2万8000か所が点検されている。町では、盛土の関係で点検が行われたのか。

答 盛土の緊急点検については、具体的に現地でどうこうする作業はしていない。府からの指示は、そういう盛土か所を、何か所かをピックアップしており、それを目視による点検で実施している。今回の調査は、民家の上に積まれている盛土で、熱海で崩落したような場所をピックアップしているの、町内にはそのよ

うな場所はないと認識している。

消防費 2億6042万円
前年度比 772万円

増

問 消火栓と防火水槽の、それぞれの設置数と必要な数の充足率について問う。

答 消火栓は、町内392か所に設置、充足率は100%と判断している。防火水槽は公設で38か所、私設で18か所設置されており、充足率は達成していると判断している。

問 災害対策の関係でコミュニティタイムラインが6か所作成されているが、残りの地区についての方向性は。

答 現在、下河内、上河内、青崩、大宝4丁目、大宝5丁目の6地区で作成されており、今年は弘川地区と持尾地区に話し掛けて作成頂きたいという形で進めている。

問 防災行政無線の保守点検340万9千円計上しているが、導入して直後の保守点検は必要なのか。

答 今回設置した設備の中に防災ホ

ームページの連携システムやLINEに連携するシステムなど、システム関係のものが多数入っており、この定期点検を毎年1回実施することと、保守点検のサービスに加入するための費用である。

教育費 6億6597万円
前年度比 3499万円

増

問 第6次の学校図書館図書整備等5か年計画によると、小学校、中学

校の学校図書館には、最低2紙を配備するよう方向性が出されており、子どもたちの活字離れを無くすという観点から、新聞に慣れ親しみ、情報を取る媒体として新聞を活用する、これについての考えを聞きたい。

答 国から府を通じて1月25日付で町にも通知が来ており、各小中学校校長あてに、この計画の策定についての内容を周知している。デジタル社会であっても実際に新聞などで活字を見るのは重要であるため、周知して進めていく。計画の中では、1校当たり、小学校で2紙、中学校で3紙となっており、これも合わせて推進していく。

問 旧庁舎解体後の跡地の活用をどうするか、方向性について考えは。

答 旧役場庁舎周辺の土地に関し、役場旧庁舎、旧スポーツセンター、旧町民体育館、この辺り一体の土地利用について、再度整理し直し、皆さんの意見も聞いて進めていきたい。



特別会計 審議および討論

特別会計予算では、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、土地取得、下水道事業に対して審議しました。

国民健康保険

問 繰入金923万円は、何に使われるのか。

答 事業費納付金の支払がきつくなつた時や保健事業費などに使うように予定している。

問 未就学児均等割り分が軽減されているが、内訳は。

答 国2分の1、府4分の1、町4分の1です。

問 均等割り、大体の計算だが1500万円あれば、中学3年生まで0にできる。町長の考えはどうか。

答 各種医療保険制度上のことだと認識している。その中で、相互扶助の精神で全ての医療保険は、でき上がっている。これ以外のところで子育て支援は行っていきたい。

討論

●反対（力武議員）

令和4年度の国民健康保険料は、前年と比べて789円増となっている。国民健康保険は、乳幼児から74歳までの人を支え、保険料を徴収する制度である。子育て支援を充実させる町において、均等割りに矛盾を感じている。7800万円の財政調整基金の生きた活用をすべきだ。

○賛成（高田議員）

子育て支援の観点から未就学児に対する均等割り額は5割削減されている。現状できる範囲の低所得層に対する負担軽減も講じられている。

後期高齢者医療

問 75歳以上の制度ですが、人口ピラミッドにおけるピークはどのあたりと考えているか。

答 令和4年度から団塊世代が75歳に入られるので、その後の5年間ぐらいが一番多いと考える。

問 別立ての保険制度ですが、今後保険料は、増えていくのか、それとも今年のように若干下がっていくのか、その見通しは。

答 医療費自体は大きくなっていくので、自己負担2割の人が増えたり、他からの支援金も増えるとは考えられるが、見込みというところは難しいと思う。

討論

●反対（力武議員）

後期高齢者医療の制度は、大阪府広域連合で行われており、市町村の意見がなかなか繁栄できない。予算編成や決算認定に当たっての情報がない中で審査することに無理がある。

○賛成（中川議員）

保険料率は、各後期高齢者医療広域連合議会で決定されている。大阪府下の高齢者などの医療水準により公平に定められている。大阪府後期高齢者医療広域連合議会で、町からの意見などを述べる機会も確保されている。

介護保険

問 他市町村では、地域ケア会議にかかった利用者が、通所Cとか、訪問Cになりますか、町も同じか。

答 通所Cについては、自立支援の地域ケア会議で必要と認められた人が対象になると、新たに要支援認定を受け、作業療法士が生活課題アセスメントをし、具体的な助言をもらい、訪問Cにつなげる2つの形を考えている。

問 認知症カフェができる話があったとき支援は期待できるのか。

答 通所Bの事業体が、今年度1つ立ち上がった。検討してみたいという地区も3地区あります。今もこの事業の立ち上げの支援をやっている。

認知症については、認知症総合支援事業もあり、社会福祉協議会と協力して支援に努めている。

問 認知症の初期集中支援チームの配置が提案されているが、どのような効果を期待しているのか。

答 具体的に認知症ケアパスといって、どのようなサービスが利用できるかを作成し、認知症カフェの立ち上げの調整などやっていた。また認知度の程度により、サービスを受けていない人へサービスの案内や、認知症予防教室の取り組みも考えている。

意見書

可決

女性差別撤廃条約の実効性を強化し、女性が抱える問題を解決するため、女性差別を撤廃し、男女平等社会を実現するために。

「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准に向けた環境整備を求める意見書」

提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣（男女共同参画担当）

決議

可決

ウクライナの主権および領土の一体性を著しく侵害し、武力行使を禁ずる国際法に違反するロシアへ、即時攻撃を停止し、軍をウクライナより撤退するように。

「ロシアによるウクライナへの侵略を強く非難する決議」

人事案件に同意

◆ 教育委員会委員

すぎた
杉田みはるさん

任期：令和4年4月1日から
(4年間)

人事案件に同意

◆ 教育長

なかがわ おさむ
中川 修さん

任期：令和4年4月1日から
(約1年8か月間)※前教育長の在任期間。

討論

● 反対（力武議員）

基金を保険料軽減に活用すべきである。要支援者向けの訪問介護と通所介護は、介護保険サービスの外から外され、総合事業に移された。本来こ

問 認知症総合支援事業のライセンス使用料は、どのようなものか。

答 主には、認知症の予防、早期発見で、いろいろなプログラムが組み込まれていて、それが終わった時に、認知機能を測定し効果があつたかを判断するもの。

○ 賛成（河合議員）

のようなサービスも保険料で賄うべきであり、この制度の矛盾をあらわしている。

コロナによる保険料減免など、さまざまな対策を実施されてきた。今後高齢化が進む中で給付費がさらに伸びる。適正なサービスの提供体制を維持することを期待する。

下水道事業

問 下水の広域化は、どこまで進んでいるのか。

答 もともと町では、流域下水道という形で市町村持ち寄った処理場やっており、事務的な話としては、富田林、千早赤阪、太子と河南町でストックマネジメント点検などを取り組んでいます。

問 大宝地区の雨水管の洪水対策は、どのようにされるのか。

答 本年基本設計をしたので、645メートルを埋設管で設計する予定。
問 改良工事で、なかむら公園に公共下水をつなぐ約束は。

答 現在、公園のトイレで水洗化されていないのは、なかむら公園だけで、水洗化すると担当から聞いている。

審 議 結 果

3月定例会議

| 各議員の表決 (○…賛成、●…反対、△…除斥、/…審議不参加、欠…欠席、—…議長) | 審議結果 | 高田 | 松本 | 河合 | 大門 | 力武 | 佐々木 | 廣谷 | 浅岡 | 福田 | 中川 |
|--|------|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|
| | | 伸也 | 四郎 | 英紀 | 晶子 | 清 | 希絵 | 武 | 正広 | 太郎 | 博 |
| 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | — | ○ | ○ |
| 議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | — | ○ | ○ |
| 町長、副町長及び教育長の給料、手当及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 欠 | ○ | — | ○ | ○ |
| 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | — | ○ | ○ |
| 河南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | — | ○ | ○ |
| 河南町消防団条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | — | ○ | ○ |
| 河南町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | — | ○ | ○ |
| 教育委員会委員の任命について | 同 意 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | — | ○ | ○ |
| 財産の無償譲渡について | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | — | ○ | ○ |
| 河南町、太子町及び早赤阪村介護認定審査会共同設置規約の変更に関する協議について | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | — | ○ | ○ |
| 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准に向けた環境整備を求める意見書 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | — | ○ | ○ |
| ロシアによるウクライナへの侵略を強く非難する決議 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | — | ○ | ○ |
| 令和4年度河南町国民健康保険特別会計予算 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | — | ○ | ○ |
| 令和4年度河南町後期高齢者医療特別会計予算 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | — | ○ | ○ |
| 令和4年度河南町介護保険特別会計予算 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | — | ○ | ○ |
| 教育長の任命について | 同 意 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | — | ○ | ○ |

| 全会一致の可決議案 | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 件 | 名 |
| 令和4年度河南町一般会計予算 | 令和4年度河南町土地取得特別会計予算 |
| 令和4年度河南町下水道事業会計予算 | 令和3年度河南町一般会計補正予算（第8号） |
| 令和3年度河南町国民健康保険特別会計補正予算（第4号） | 令和3年度河南町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） |
| 令和3年度河南町介護保険特別会計補正予算（第3号） | 令和4年度河南町一般会計予算（第1号） |

5月臨時会議

| 全会一致の可決議案 | |
|------------------------|---|
| 件 | 名 |
| 財産の取得（かなん公共交通バス購入）について | |



廣谷 武 議員

問 空き家バンク制度の今後

答 空き家登録10万円進呈

空き家対策について

問 まず現状は、どのようになっているのか。

答 空き家と思われる建物258戸の所有者にアンケート調査を行った結果、「空き家でない」との回答が61戸。「空き家である」との回答が39戸。「回答なし」が158戸。平成28年度の調査以降の5年間に上水道を閉鎖し

た住宅が82戸あることから、空き家は250戸程度と推測している。

問 今後の課題と対策は。

答 空き家を「流通可能な空き家」と「そうでない空き家」に分類し、流通可能な空き家は、空き家バンク登録をしてもらい、成約した場合10万円の奨励金を交付する制度を実施している。空き家バンク登録の周知のチラシと、維持管理の啓発チ

ラシを令和4年度の固定資産税納入通知に同封する予定。

保育料無償について

問 2018年から保育料無償になった。国の施策に對した、町の現状は。

答 教育保育施設を利用する3歳から5歳までは保育料が無償。0歳から2歳については住民税非課税世帯が無償。第2子以降は年齢を問わず無償としている。

生涯学習について

問 生涯まなぶ課が新設されたが、生涯学習の現状は。

軽減に努める。

答 公民館、図書館を拠点とした文化、芸術、歴史関連についての振興、総合体育館を拠点としたスポーツ振興に取り組んでいる。

問 今後の展望は。

答 生涯学習人材バンクを開始しており、住民の多種多様なニーズに応えていく。

問 生涯学習人材バンク

答 講座などの実施に向けて検討する。



▲保育料などの無償化の考えは。

▲空き家対策。現状と今後の課題と対策は？



問 入園時に必要な費用や教材費、給食費の主食費などの負担がある。

答 財政状況なども鑑み、子育て世帯の経済的負担

問 公民館、図書館を拠点とした文化、芸術、歴史関連についての振興、総合体育館を拠点としたスポーツ振興に取り組んでいる。

答 生涯学習人材バンクを開始しており、住民の多種多様なニーズに応えていく。

問 たとえば直木賞、芥川賞など受賞作品の紹介、解説など定期的に開催は、できないのか。

答 講座などの実施に向けて検討する。



福田太郎 議員

問 高齢ドライバーの免許更新は

答 自主的免許証返納を呼び掛ける

高齢者ドライバーについて

問 我が町の高齢ドライバーの運転免許証の更新状況は。

答 高齢運転者の免許証

の更新時に富田林警察署などで自主的な免許証返納を呼び掛けている。

問 高齢ドライバー免許証返納者の支援策について、自主的に高齢者で運転免許証を返納された人

たちに、年間十数枚のタクシー券や路線バスの利用券を配布する支援事業への取り組みは。

答 町独自の運転免許返納者への支援策は、他市町村の支援方針などを参考に検討していきたい。

福祉から一般就労への移行、「相談支援体制の充実・強化」など、それぞれの目標の達成を目指して取り組んでいます。

問 我が町での知的障がい者への更なる支援施策について、町内の知的障

がい者の人たちを施設に入所させるためには、施設の不足によりスムーズな入所ができない状況と

なっています。今後、その対処と対応をどのように取り組まれるのか。

答 社会福祉協議会や相談支援事業所、障がい福祉サービス事業所、支援学校などの教育機関との連携を密に図り、成年後見制度の積極的な周知を実施するなど、多様な角

障がい者施策事業について

問 町の障がい者への福祉事業について、今後も障がい者へのノーマライゼーションの理念に基づき、町の事業として、どのような問題点と諸課題を山積みされているのか。

答 問題点は「施設入所者の地域生活への移行」、「地域生活支援拠点等が有する機能の充実」、「福

祉施設から一般就労への移行」、「相談支援体制の充実・強化」など、それぞれの目標の達成を目指して取り組んでいます。

問 児童・生徒の携帯電話でのネット依存対策について、スマートフォンなどの携帯電話の使用時の実態調査、また、ネット依存症への対策について、今後 どのように取り組まれるのか。

答 小・中学校では、ネット依存などに対する、注意喚起・指導を引き続き実施します。

問 義務教育での「学びの貧困対策」について、新しい取り組みをされるのか。

答 富田林子ども家庭センターと共催で、学習セミナーを週に1回、中央公民館で実施しているところです。

総合的子育て支援策について

問 児童・生徒の携帯電話でのネット依存対策について、スマートフォンなどの携帯電話の使用時の実態調査、また、ネット依存症への対策について、今後 どのように取り組まれるのか。

答 小・中学校では、ネット依存などに対する、注意喚起・指導を引き続き実施します。

問 義務教育での「学びの貧困対策」について、新しい取り組みをされるのか。

答 富田林子ども家庭センターと共催で、学習セミナーを週に1回、中央公民館で実施しているところです。



▲子どもたちへのネット依存対策は。



▲高齢者ドライバーの免許返納は。



中川 博 議員

問 地方創生テレワークの実現は

答 移住人口増加のため検討したい



▲オンライン授業の取り組みの現状は。

問 オンライン授業の取り組みの現状は。

答 令和2年度に児童・生徒全員に1台端末。令和3年度、各家庭の調査。令和4年度は、大阪府GIGAスクール運営支援センターに参加し、オンライン授業を視野にICT活用を進める。

問 オンライン診療などを身近に受けられるよう「かかりつけ医」を各地域に適切に配備するなどの取り組みは。

答 オンライン診療など

は、適宜実施しており、「かかりつけ医」をもつよう、広報やホームページなどで周知する。

問 地方創生テレワークを実現し移住者増加のため魅力的な地域づくりは。

答 補助金などの活用や先進事例の調査研究を行い、移住定住人口の増加や経済活性化のための検討をしていきたい。

プラスチック
ひまじいさん

問 おおさかプラスチック



▲AIオンデマンド交通は。(写真は、大阪市で走る実証車。)

くみゼロ宣言へ32市町村が趣旨賛同している。プラスチックくみゼロ宣言を行い環境問題に積極的に取り組む姿勢を明らかにすべきでは。

問 検討していきたい。

答 自動販売機リサイクルボックスへの異物、一般廃棄物混入問題は。

答 規定に基づき、事業廃棄物として有料で町が収集運搬処理する。

問 行政として業界と連携し、問題の解決は。

答 公共回収ボックスの

大阪スマートシティ
戦略関連について

設置や官民共同の協議会の立ち上げなど先進事例を研究していきたい。

問 スマートシティパートナーズフォーラムとは。

答 高齢者に優しいまちづくり、子育てしやすいまちづくり、移動がスムーズなまちづくりなど、7分野のプロジェクト。

問 A-1オンデマンド交通とは。

答 AIを活用した効率

不妊治療について

的な交通システムで、現在、河内長野市や大阪市北区など4つの事例がある。

問 大阪スマートシニアライフ事業とは。

答 シニア層の抱える課題をデジタル端末で、行政と民間のさまざまなサービスをワンストップで提供するもの。

問 令和4年4月から保険適用の対象が拡大され多くのメリットがある。町独自の助成制度は続けたい。

答 国や近隣市町村の動向を注視し、検討して行きたい。

コロナ関係について

問 塩野義製薬の経口薬とは。

答 コロナウイルス感染症治療薬で、無症候および軽症から中等症の患者を対象に現在臨床試験中。



高田伸也 議員

問 「大阪万博」に向けた町の取り組みは

答 桜の植樹事業だけでなく

全国の活動を参考に取り組みたい

**コロナウイルス
感染症について**

問 ワクチンの3回目接種状況と、検査キットの確保について。

答 現在65歳以上の接種率は、約90%（2回目接種率）であり、64歳以下の人も4月中には完了する見込みである。検査キットは、使用期限などから、確保は考えていない。こども園や小中学校に配布された抗原検査キットも廃棄せず有効活用する予定。

町の活性化について

問 完成した大阪芸術大学の「キャラクター造形学科棟」を町の活性化に



▲大阪万博に向けた町の取り組みは。
(写真は、大阪万博の会場イメージ。)

役立てるべきではないか。

答 教育文化施設や古墳など、今後も町の魅力の

発信やPR行い、役場周辺における土地活用においても、大阪芸術大学と連携して取り組みたい。

問 町の旧校舎や園舎など、町の財産の有効活用

に対する取り組みは。

答 旧白木小学校は、市街化調整区域に位置することから、法的な課題も

多い状況にあるが、「農と食の体験型テーマパーク」なども含め、民間と連携した取り組みを検討する。

問 カナちゃんコイン第2弾の実績と今後の展開

は。

答 第2弾でのボーナスポイントの利用総額は、約6700万円。利用件数は、アプリでの利用が2947人、カードが、3367人、合計、6314人。第3弾は、購入金額に応じたポイント還元などを予定している。

問 「カナちゃんバス」

の新車両導入決定は、安全の確保と、持続可能な地方公共交通として認められたが、町内の活性化にもつながる。更なる活性化策として大阪万博に向けた町の取り組みは。

答 河南町は、580の市町村が参加する万博首长連合に参加しており、



▲災害に備えた防災ボランティアの登録実態は。

今後、全国の活動などを参考に取り組みたい。また、町は2025本の桜を植樹する万博の桜事業にも参加している。

災害対策について

問 避難所への「災害備蓄品の分散化」と情報収集を目的としたMEIや簡易的な電源の完備は。

答 備蓄品は、町内2か所の災害備蓄倉庫で管理しており、災害時には特

問 大災害に備えた「防災ボランティア（個人・事業所）」の登録実態は。

答 現在、15人が登録。災害時の救援復興支援に協力してもらえる町内の企業・事業所の登録は無い状況であるので、社会福祉協議会や地区と協力し、PRする。



松本四郎 議員

問 2050年のカーボンニュートラルへの取り組みは

答 河南町ゼロカーボンシティ宣言により推進

地球温暖化対策の推進について

問 2050年のカーボンニュートラルに向けて町の取り組み方針は。

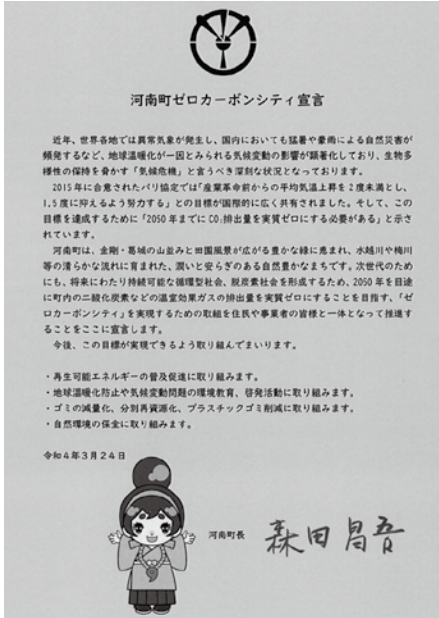
答 町の豊かな自然を次世代につなぎ、将来にわたり持続可能な循環型社会、脱炭素社会を形成するため2050年を目途に町内の二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを旨とする「ゼロカーボンシティ」を実現するための

持続可能な農業の推進について

取り組みを住民や事業者の皆さんと一体となって推進することを宣言する。

問 圃場整備など出来ない地域での耕作放棄地の活性化対策として、狭い農道の拡張は可能か。

答 既存の道の拡張だけでなく圃場整備のようにな面的な整備を行うことで効率的かつ安定的な農業経営が確保されるなど、高い効率があると考ええる。



▶脱炭素社会の実現を目指して！
(写真は、町のゼロカーボンシティ宣言書)

問 山間部の町道を通行する自動車から（ペット

美しいまちなかを守る

）を取り組んでいる。

答 町としては、ポイ捨てや不法投棄防止のため啓発看板を作成し、地域の要望があれば提供している。今後、看板の内容やレイアウトなどの改善も検討し、ポイ捨てや不法投棄の禁止を広報などで啓発する。

問 粉塵・騒音・悪臭・煙害などの公害防止に対

応する「美しい河南町環境条例」の改正は。

答 令和2年12月1日付で、大宝地区から町議会に対し「美しい河南町環境条例」の改正について請願書の提出あり、同年12月議会で採択された。町としては、請願の趣旨を踏まえ令和4年1月26日条例改正について審議会に諮問、今後答申を踏まえ改正について検討する。



▲ポイ捨ては、不法投棄です(町を美しく!)。
(写真は、不法投棄防止啓発看板。)



河合英紀 議員

問 通所型サービスC事業準備の課題は

答 受託先の確保と継続して

もらえるかが課題

認知症 支援施策について

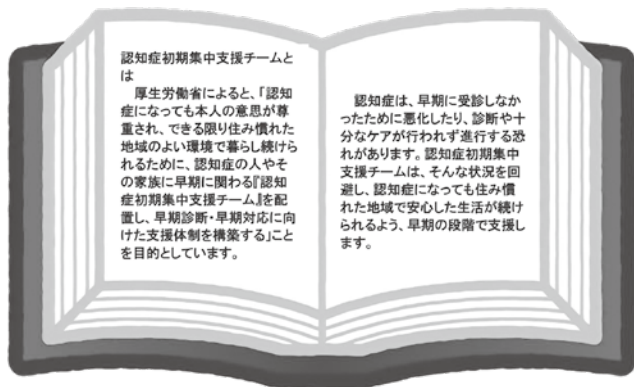
問 認知症支援施策はどのような取り組みをしているのか。

答 認知症サポーター養成講座の実施。認知症ケアパスの配布。認知症初期集中支援チームの設置。SOSネットワークの事前登録者へのQRコード配布し、徘徊時、早期発見できる体制づくり。

問 認知症初期集中支援の今年度の実績は。

答 実績は0件。チームが動く前に地域包括支援センター職員や認知症地域支援推進員の同行訪問で早期に医療や介護に近づけている。

問 認知症を介護する家



▲認知症の支援施策は？

族の支援はあるのか。

答 地域包括支援センターや認知症地域推進員による相談。認知症ケアパスによる、認知症の段階に応じた相談窓口や介護サービスなどの紹介などを実施している。

問 認知症カフェなどの取り組みはあるのか。

答 4月1日オープンに向けて1件の取り組みがある。

問 今後、民間で支援グループや取り組みを企画した時に支援できるのか。

自立支援について

答 地域包括支援センターの専門職や認知症地域支援推進員が相談に応じ、補助金については必要性を勘案して検討する。

問 個別地域ケア会議の症例数は。

答 毎回4事例の8回開催しています。32事例を検討する予定である。

問 症例の選定方法は。

答 症例の選定方法は、年度初めに各居宅介護支援事業所に事例提供の日程表を配布し、自立支援につながる事例やケアマネジャーが支援困難で助言が必要な事例、専門職による短期集中訪問が必要な事例の提供を依頼し

ている。

問 個別地域ケア会議の結果、自立につながった症例はあるのか。

答 多くの事例は現状維持。訪問型サービスCの事業で症状が改善した事例が1件ある。

問 訪問型サービスCの実績は。

答 対象者は5人。そのうちサービスを受けた人は3人。1人は日常生活動作が自立となり、自立



▲地域ケア会議の結果、自立につながった症例は？

問 新規事業である通所型サービスCの準備に対する課題は。

答 令和4年度下半期から委託で実施したい。事業の目的やメニュー、回数などの事業内容、事業要件、委託料の考え方に整理し、早期に事業者などに示し、検討いただく必要がある。受託先の確保・継続できるかが課題。



大門晶子 議員

問 盛り土箇所は安全か

答 必ずしも安全とは言えない

土砂災害を未然に防ぐために

問 基礎調査の点検は随時行われているのか。

答 平成29年度から2巡目の調査を進めている。町内の調査は、令和4年度実施予定。

問 ワールド牧場の盛り土箇所は、土砂災害警戒区域に指定されないのか。

答 指定されるには対象となる条件があり、一定条件以下のため指定はさ

れていない。
問 指定されなかった箇所は、土砂災害が発生しない安全な土地と言えるのか。

答 必ずしも安全であるとは言えない。

問 地域の土地の成り立ちの特徴も知っておく必要がある。地形データの変化はどのような方法で知ることができるのか。

答 府のホームページに、大規模盛り土造成地マップが公表されている。

問 盛り土で死亡する事例もある。ハザードマップに掲載するだけで、危険回避するには不十分だ。今後どのように啓発するのか。

答 災害ハザードマップや地域版ハザードマップを活用した防災訓練などを行うなど、防災意識の向上に努める。

問 急傾斜地崩壊危険区域と記した看板は、どのような個所に設置されているのか。

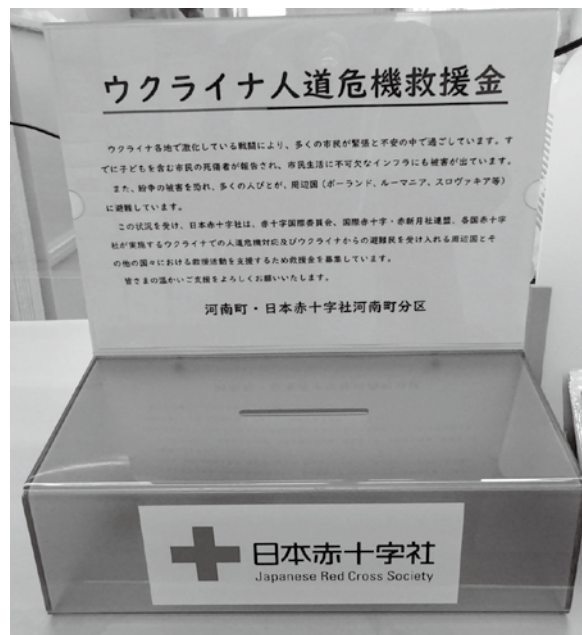
答 法に基づき、府が指定した区域で、急傾斜地の崩壊を助長・誘発する恐れのある一定の行為を制限する目的で設置している。

問 急傾斜地崩壊危険個所の事業未着手の見通しは。

答 「大阪府都市整備中期計画」に位置付けられるよう要望する。

高齢者を取り残すことのない社会の構築に向けて

ウクライナ国民への支援はできないのか。



問 高齢者がスマホなどを活用できるように、生涯学習などで取り組めないか。

答 デジタル化を進めていくうえで、ためらう人もいる。サポートする取り組みの拡充などについて、教育委員会と町部局で調整・検討する。

問 大災害が起きた際の国際協力について

問 ウクライナ問題の支援体制についての考えは。

答 姉妹都市などの提携した都市がないが、ウクライナ国民が人道的に苦しんでいる状況を踏まえ、日赤募金を行っている。

問 宮城県と福島県の震災についての支援は。

答 家屋の倒壊や断水なども続いているので、何らかの支援はしていきたい。福島で地震後倒壊が多いので、支援要請が来ているので、検討したい。



力武 清 議員

問 小・中学生の基礎体力向上への課題は

答 学校以外で運動する機会の確保

問 全国体力・運動能力等の調査結果から、児童・生徒の特長と課題は。

答 児童の場合、50m走で全国・府平均を上回っている。一方、授業以外で運動やスポーツする時

間が下回っていて機会確保が課題である。中学生

は、半数以上の種目で上回っていたが、握力やハンドボール投げなどに課題があった。

問 オリンピックで10代

の選手が活躍した、スケートボードなど新競技の

振興に対する取り組みは。

答 どのようなスポーツや施設の充実を望んでいるか児童・生徒にアンケート調査を実施しニーズの把握を行う。

問 白木小学校跡地などで屋外スポーツを。

答 ニーズを把握し、安全な遊びづくりを研究し、推進に努める。

福祉政策について

問 町内を循環する地域公共交通は充実化が図られてきているが、町外へ

出掛ける際、妊産婦・高齢者・障がい者などへの支援は。

答 妊産婦、高齢者への

助成は行っていない。障がい者へは、移動支援サービスやタクシーチケットの補助をしている。

問 妊産婦、高齢者への支援を。

答 住民ニーズも踏まえ調査・研究していく。

問 障がい者に対するチケットは使い勝手が悪く、車いすを使った際は使えないなど、普通のタクシー利用券にとの要望があるが。

答 利用しやすいように研究していく。

問 補聴器購入への補助を。

答 他市町村の動きや助成内容などを注視し、研究していく。

問 大人のひきこもりに関しての現状と相談件数は。



▲通学路の用水路。グレーチングや反射板の設置を。
(写真は、町道大ヶ塚今堂線。)

答 大阪府ひきこもり地域支援センターをはじめ、社協、民生委員、保健所

など連携し、情報収集や共有し、実行ある支援へつなげていきたい。相談件数は、毎年4件から5件ある。

通学路の安全対策について

問 役場西側を通って

る町道を中学生が通行する農水路がある。グレーチングや反射板の設置を。

答 通学実態を注視し、必要な対策を講じていく。

問 寺田北交差点から南側に関電施設への進入路がある。その交差点に信号機の設置を。

答 再三にわたり、府警察本部へ要望しているが、設置には至っていない。

▲小学校の跡地で、屋外スポーツ施設の計画を。
(写真は、松原市のスポーツパーク。)



佐々木希絵
議員

問 オンライン授業の体制整備を

答 徐々に体制を整える



▲オンライン授業の実現を。

問 コロナウイルス蔓延がピークの時、町内の小学校では25人ほどの学級で7、8人休んでも学級閉鎖にならなかった。憲法26条には、全ての国民は教育を受ける権利があること、大人は子どもに教育を受けさせる義務があると書いている。休んだ児童生徒の学習機会は憲法通りに保障できているのか。

答 大阪府教育庁のガイ

ドラインに従って学校運営を行った。
問 コロナに限らず、さまざまな理由で休んでも学習が継続できるように体制を整える必要があるのでは。

答 登校できない子どものために、授業のライブ中継などのオンライン授業も重要なツールだと認識している。教育現場と調整しながら、学ぶ機会の保障に取り組む。

町面積の半分を占める森林保護に予算を

問 近年の台風や暴風雨による被害で、町内数か所に山崩れがおきている。町面積の半分を占める森林に予算が少な過ぎるのでは。

答 森林は災害、ゼロカーボン、水涵養みづくみなどで非常に大事だと認識しているが、ほとんどが民有地で面積が広大であるために整備が行き渡らない。

問 森林環境税を全額注ぎ込んで。

答 森林の保全、活用に使っていく。

問 森がお金になるように、薪ストーブやペレットストーブなどにも補助金を出しては。

答 住民のニーズを研究する。

付属機関の運営指針作成を

問 各種審議会などの付属機関について、その運



▲山崩れに対策を。

営の指針を出している自治体が多くある。国でも「審議会などの整理合理化に関する基本計画」が閣議決定された。その目的は、審議会などは行政の隠れ蓑かくれもみになっていると批判に対して、行政責任を明確にするためである。町でも指針を定めておくと、独裁的な町長が誕生しても、審議会の悪用を防ぐことができる。森田町長の任期中に作成してほしい。

答 検討する。

問 町に各種審議会は50以上ある。130人ほどの正規職員で適切に管理できているのか。役割が重複している会や設置理由があいまいな会を整理する必要があるのでは。

答 目的が似通ったもの、設置目的がすでに達成されたもの、長期間案件がないために開催されていないものもある。整理できるよう検討する。

シリーズ



50



心でつなぐ 支え合う

「ティールームかえで」

代表 **木矢 明美**さん(平石)

◀「ティールームかえで」のスタッフの皆さん。
写真下の段真ん中が代表の木矢さん。

4月1日に中地区に、認知症カフェ「ティールームかえで」がオープンしました。「ティールームかえで」は、認知症の人や家族、地域の人たち、介護や福祉の専門職の人など誰でも気軽に集えるところなのです。

今回は、その認知症カフェを立ち上げられた「ティールームかえで」の代表、木矢明美さんと、その仲間（スタッフ）の皆さんにお話を聞かせてもらいました。

代表の木矢さんは、以前から「子どもから高齢者まで誰でも集える楽しい場所を作りたい」。また、自身の介護経験から「介護生活の悩みや不安、毎日の介護で工夫していることなど、気軽に話せる認知症カフェができたら」と。そんな思いに共感してくれる仲間も集まり、決して一人ではできないことも、頼りになる仲間と介護や福祉の専門職などの「後押し」と「支え」で、オープンすることができたと話されます。

は、目線は下から」「相手の話は否定しない」「その人の歩んできた歴史や生活に寄り添う」「スキップを心掛ける」などと話されます。

幼稚園の先生をされていた木矢さん。子どもも高齢者も関わる気持ちに変わりはないが、それぞれの思いを尊重して、その思いに少しずつでも近づいていけるよう、寄り添う気持ちで接するようになっているとのこと。

また、スタッフの皆さんからは「子ども叱るな来た道じゃ、年寄り笑うな行く道じゃ」の精神で、これからも「心をつなぐ・支え合う」を実践していきますと話されました。



▶「ティールームかえで」の活動風景

町議会議員が義援金

～ウクライナの子どもたちを支援～

現在、ロシアから侵略を受けているウクライナの子どもたちの救援・救護に使ってほしいと、町議会議員10人の義援金(10万円)と、議員の思いを書いた色紙を、3月25日、在日ウクライナ大使館へ町議会を代表して浅岡議長が持参され、コルスンスキー大使に手渡されました。



編集後記

新年度の予算が決まりました。学校給食の無償化とカナちゃんバスの新車購入が特にうれしい予算だと思います。カナちゃんコインも、住民の皆さんへの支援施策として、どのように継続されるのかを注目していきたいところです。福祉面でも、認知症カフェがスタートしたことで、新たな社会資源ができたことに喜んでいきます。

新型コロナウイルス感染症の今後の経過に注意しながら、2年近くの我慢を強いられてきた生活から、今までの日常に戻れることを期待しつつ、改めて予防対策を継続してもらいたいと思います。

定例会議の日程

令和4年6月定例会議、次の日程(予定)で開催します。

- 6月7日 開会
- 6月8・9日 委員会
- 6月17・20日 一般質問
- 6月21日 閉会

※日程は、変更になる場合がありますので問い合わせは、議会事務局へ。

議会だよりを アプリからでも 読んでいただけます

スマホアプリ「マチイロ」で、議会だよりを配信しています。電車やバスなどの通勤・通学時間や、ちょっとした空き時間に、読んでいただけます。

※アプリは無料ですが、アプリのダウンロードや受信に通信料が発生する場合があります。

